



高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞、審査員長高木聖雨賞の受賞者

## 魂の込められた作品がズラリ

### 高木聖鶴児童生徒競書大会表彰式

郷土の偉大な書家高木聖鶴さんを顕彰し、書の振興につなげようと始まった高木聖鶴児童生徒競書大会の表彰式が5月20日、総社吉備路文化館で行われ、受賞者に賞状と記念品が贈られました。

市内在住の小中学生162人が力作を出展。審査の結果、高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞にそれぞれ4作品と、今年から新設された審査員長高木聖雨賞5点、特選22作品の計39点を選出されました。

審査員長の高木聖雨さんは、「低学年は元気のある伸び伸びした線の良さ、高学年はまとめる意識、中学生は大人顔負けの質の高さを感じられた」と講評しました。

## ミニフォト

### 地元の宝物を知る



お土産に大喜び

6月11日、秦小学校でマスクット・オブ・アレキサンドリアの授業が行われました。きびじ農業後継者クラブが、特産品のブドウ栽培について知ってもらうために毎年開催。児童らは「果物の女王」のお土産に笑顔いっぱいでした。

### 私たちの健康は私たちの手で



食育图画コンクールの表彰児童

総社市栄養改善協議会が創立50周年を迎え、5月28日に記念大会を総合福祉センターで開催。栄養委員による寸劇や、野菜食堂こやまの小山津希枝さんによる記念講演の後、食育图画コンクールの表彰も行われました。

### みんなどろんこ



泥だらけでバレーボール

きよね夢てらす主催のどろんこフェスティバルが6月10日、清音小学校プール南側の水田で開催されました。市内外から約300人が参加。大人も子どもも泥の中でバレーボールやスライダーなどを楽しんでいました。

### 優れた音楽に親しむ



指揮者体験する児童

音楽・英語特区の新本小学校で5月27日、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の学生らを招いて、スクールコンサートを開催。児童らは指揮者体験をしたり、「剣の舞」や「ドレミの歌」などの演奏に聞き入ったりしました。

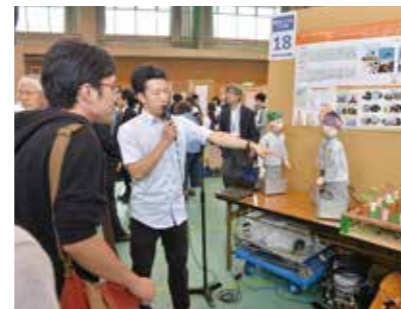
### グラウンドを芝でいっぱい



多くのボランティアが参加

5月19日と20日、26日に高梁川河川敷グラウンドで芝張り作業が行われました。市内のスポーツ少年団など、3日間で約800人のボランティアが参加。3万2500㎡が緑のじゅうたんで敷き詰められました。

### 県立大学が総力を結集



研究発表に耳を傾ける

5月29日、OPUフォーラム2018が県立大学で開催されました。毎年研究してきた成果を公開する展示発表会。特別講演会や地域の食のコーナーもあり、来場者は県立大学をより身近に感じました。

## 初夏の吉備路を気持ちよく

### So-Ja! pan ラン

サンロード吉備路を発着点とする「古代吉備王国ランニングコース」を活用し、6月12日、「So-Ja! pan ラン」が開催されました。

市の健康インセンティブ事業と総社商工会議所が推進する「パンわーど総社」とのコラボ企画。参加者は3カ所に設けられた給パン所でパンを食べ、5kmのコースを走りました。市内外から約100人が参加。「歴史を感じるコースで気持ちよかった。どのパンもおいしい」と満足気でした。



給パン所でお気に入りのパンを選ぶ参加者



元気に笑顔でスタート



## カメラ フォトニュース まちの話題

## 赤米の伝統を今に受け継ぐ

### 新本赤米の田植え

毎年の恒例行事である赤米の田植えが、6月11日に本庄国司神社（新本）の神田で行われました。

歌手で総社赤米大使の相川七瀬さんと新本小学校5年生8人は、豊作と安全を祈願した後、本庄赤米保存会メンバーの指導を受け、丁寧に苗を植えました。参加した鎌田凜さんは「相川さんと田植えができて楽しかった。秋にはいっぱい穂が実ってほしい」と話し、豊作を願いました。



赤米の苗を植える相川さんと新本小5年生、本庄赤米保存会のメンバー

### スポーツを通して人権を学ぶ



相手がりやすいボールを

人権スポーツふれあい教室が6月8日、ファジアーノ岡山のコーチを招き、神在小学校で行われました。5・6年生45人はサッカーボールを使った遊びのなかで、仲間に声を掛けることや思いやることの大切さを学んでいました。

### 水害への備えを万全に



土のうを積み参加者

高梁川が氾濫危険水位を超えた想定で6月3日、水防訓練がそうじゃ水辺の楽校で実施されました。消防団員ら約300人が参加。被害状況に応じた水防工法を演習し、技術の確実性や連携などの熟練度を高めていました。

### 一足先に夏を感じる



水しぶきに歓声

6月7日、市役所南交差点にある「まちかどの泉」で噴水が再開しました。同日行われた夏開き式には、総社南幼稚園の園児32人と近隣住民が参加。園児たちは噴き上がる冷たい水に触れ、夏の到来に喜びの声を上げていました。